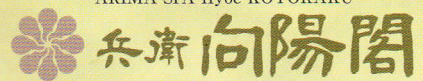




ARIMA SPA Hyoe KOYOKAKU



〒651-1401 神戸市北区有馬町1904

TEL.078(904)0501(代)

FAX.078(904)3838

ご予約専用フリーダイヤル 0120-400-489

URL <http://www.hyoe.co.jp/>

E-mail [yoyaku@hyoe.co.jp](mailto:yoyaku@hyoe.co.jp)



ARIMA SPA Hyoe KOYOKAKU



「向陽閣」周辺  
名所・旧跡



鼓ヶ滝



太閤像



ねね橋



天泉源

六甲有馬口ロープウェイ

西宮北IC

西宮山JCT

有馬温泉

有馬口JCT

六甲有馬口ロープウェイ

六甲ケーブル

六甲

六甲アイランド

神戸空港

ポートアイランド

三宮

新神戸

谷上

阪神高速北神戸線

神戸電鉄

六甲北有料道路

西宮北IC

西宮山JCT

有馬温泉

有馬口JCT

六甲有馬口ロープウェイ

六甲ケーブル

六甲

六甲アイランド

神戸空港

ポートアイランド

三宮

新神戸

谷上

阪神高速北神戸線

神戸電鉄

六甲北有料道路

西宮北IC

西宮山JCT

有馬温泉

有馬口JCT

六甲有馬口ロープウェイ

六甲有馬口ロープウェイ

西宮北IC

西宮山JCT

有馬温泉

有馬口JCT

六甲有馬口ロープウェイ

六甲ケーブル

六甲

六甲アイランド

神戸空港

ポートアイランド

三宮

新神戸

谷上

阪神高速北神戸線

神戸電鉄

六甲北有料道路

西宮北IC

西宮山JCT

有馬温泉

有馬口JCT

六甲有馬口ロープウェイ

六甲ケーブル

六甲

六甲アイランド

神戸空港

ポートアイランド

三宮

新神戸

谷上

阪神高速北神戸線

神戸電鉄

六甲北有料道路

西宮北IC

西宮山JCT

有馬温泉

有馬口JCT

六甲有馬口ロープウェイ

六甲ケーブル

六甲

関西圏の各要所を結ぶ快適なアクセスゾーン



- <施設のご案内>
- 収容人数 / 750名様
  - 客室 / 133室
  - 宴会会場 / 南館2F(蓬萊・白扇・瑞宝)288畳  
北館9F(愛宕)110畳  
北館11F(六甲・摩耶)201畳
  - 会議室 / 大・小7室
  - コンベンションホール / 娯楽

有馬へのアクセス

- ◆電車・バスをご利用
- 三宮・新神戸から  
地下鉄・北神急行(三宮→新神戸→谷上・乗りかえ→有馬口・乗りかえ→有馬温泉)約30分  
JRバス40分
  - 大阪(阪急梅田)から 阪急バス・JRバス55分
  - 芦屋から 阪急バス40分・タクシー25分
  - 宝塚から 阪急バス40分・タクシー25分
  - ※有馬温泉駅・有馬温泉バス停・ロープウェイ有馬温泉駅より送迎バスあり。(要電話)
- ◆お車をご利用
- 三宮から 新神戸トンネル経由で30分
  - 大阪から 中国自動車道経由で60分  
中国自動車道西宮北ICから15分
  - ユニバーサル・スタジオ・ジャパンから お車で70分
- ◆飛行機をご利用
- 大阪空港(伊丹)から タクシー30分  
バス70分→三宮→タクシー30分  
海上アクセス(ベイシャトル)30分→神戸空港→タクシー45分
  - 関西国際空港から タクシー45分
  - 神戸空港から

## 一の湯

圧巻の眺望とゆつたりとした和風のおもむき

湯の香りをやさしく包むのは格子天井。身も心も和ませる

優しい照度の灯り。

そして、庭園を通して望む

山々の雄大さと彩りは

まさに絶景です。



## 二の湯

ひととき優雅に、  
異国情緒ただようローマ風

シンメトリーに配された

印象的な照明と、

やわらかな曲線美を

持つ柱が独特の世界をつくります。

古代のローマ人も愛した

湯の恵みを、

心ゆくまでお愉しみください。



## 三の湯

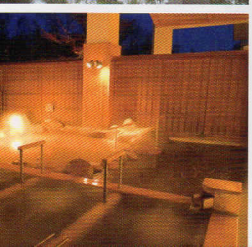
どこか懐かしい山間の湯治場風のたたずまい

九階庭園に設けられた開放的な湯処。

露天風呂の味わいも楽しめる

野趣あふれる岩風呂が特に人気。

ジャグジーも完備しています。





## 関西の奥座敷 贅を極めた癒しの空間

四季に彩られる  
美しいロケーション

春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、そして冬には雪景色。緑に包まれる有馬近郊の四季は、豊かな自然の恵みがいっぱいです。都会ではめぐり逢えない優しい時のうつろいをご満喫いただけます。



古代より親しまれる  
有馬の湯

その存在は奈良時代から知られ、以来、高僧をはじめ將軍など多くの人々に愛されてきた有馬の湯。

中でも当湯は豊臣秀吉公に「兵衛」と命名、保護され発展してきました。という由緒があります。

